

2024. 9. 13 第77号

# くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部  
TEL (082) 856-0222  
https://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様



でじま・くにくさでは、7月27日宇品みなと花火大会に併せて、花火観賞会を実施いたしました。今年5年ぶりの開催であり、ご利用者の方々も楽しみにしておられました。昼間には各ユニットで夏祭りと呼びながら、ご利用者様と一緒にレクリエーションを楽しみました。夕食には散らし寿司、たこ焼き等の祭りにちなんだ



食事はもちろんですが、花火鑑賞の際にはスイカやかき氷、綿菓子を提供させてもらい、ご好評の声をたくさん頂きました。久しぶりの花火で歓声も上がり、笑顔で楽しそうに鑑賞されておられました。近年のコロナウイルスやインフルエンザなどの感染症流行の時期が長く、ご利用者と一緒に盛り上げられるような行事がなかなかできず、寂しい思いを持っていましたので、職員にとつても実りのある行事となりました。(でじま・くにくさ 介護主任 新谷 和哉)



8月23日(金)に毎年恒例の夏祭りを開催しました。今年の出し物では、マグネットを使った魚釣りやガチャガチャを楽しんでいたが、景品としてお菓子や脳トレドリル、折り紙などをゲットされました。魚釣りを熱心に取り組まれたご利用者からは、「昔は魚釣りが好きで、よく出



掛けていた。今日はあまり釣れなかったが、またやってみてほしい」と笑顔で話されていました。昼食は、夏祭りメニューとして、ちらし寿司、焼きそば、エビフライ、サーモンマリネ、メロンなどが振る舞われ、「どれも美味しいねえ」と嬉しそうに召し上がっておられました。今回は、くにくさ苑職員の子供が景品交換などのお手伝いをしてくれました。ご利用者と交流する場面も見られ、夏祭りを盛り上げてくれました。(くにくさ苑 生活相談員 山北 洋平)





活きズワイガニの姿蒸し



# 七夕特別メニュー

～食事を通して笑顔になって頂きたい～

有料老人ホームでじま・くにくさでは、7月7日の夕食に七夕特別メニューを提供しました。『皆様の願いを叶え、笑顔になつていただきたい』というコンセプトで始まったこの企画も今年で5回目となります。

事前にご利用者に食べたいメニューや願いを短冊に書いて頂き、七夕の日の夕食にそのメニューを提供させて頂きました。例年同様、握り寿司や和牛ステーキは人気が高く、デザートに特大プリンを希望される方もいれば、『蟹が食べたい！』と希望される方もおられました。ご利用者に希望されたメニューを配膳すると、『まあすごい！』と目を輝かせて近くの席の方とお話をされたり、にこにこ微笑みながら握り寿司を美味しくそつに頬張っていたりと喜んで頂けたご様子でした。

（じま・くにくさ）

管理栄養士 北野 理奈

たこ刺し



握り寿司



鯛のかぶと煮



## 駅弁企画 No.9

# 石川・能登

5月に駅弁シリーズ第9弾として、『石川 能登応援弁当』を実施しました。今回石川県を選んだ理由は、今年のお正月、甚大な地震被害にあった能登地方を何らかの形で応援させて頂きたかったからです。

能登地方の名産物や郷土料理を盛り込み、石川県七尾市の老舗和菓子屋から『みそまんじゅう』を取り寄せ提供しました。

普段あまり食べる機会の少ない『のどごろ』や、味噌が生地に練り込まれた少し大きめの『みそまんじゅう』に皆さんとても喜ばれていました。

次回は10月に実施予定で、現在構想を練っている途中です。どこの地方の駅弁になるのか、皆さん楽しみにしててください。

（栄養課）

課長 秋庭 絵美



『駅弁』開催決定!!

5/22(水)の昼食は、『石川 能登応援弁当』です。今年のお正月、甚大な地震被害にあった能登地方を応援するため、能登地方の名産物や郷土料理を盛り込んだお弁当を作り提供致します。くにくさ限定!となっていますので、ぜひ、おしよがってください!

# 応援弁当

くにくさ特製

### 技能実習生の紹介 くにくさ苑

このたび、あと会ではミヤンマーからの技能実習生を2名迎えました。技能実習制度は1993年に制度が創設され、我が国で培われた技能、技術又は知識の開発途上地域等への移転を図り、開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与するという、国際協力の推進のための制度です。最長で5年間、実習計画に基づき実習を行う予定です。

2名の実習生は、入国前から現地で日本語学習を始めておられますが、施設に配属後は広島弁の理解に苦労されながら、何事にもとても明るく前向きな姿勢で取り組み、多くのご利用者から暖かい言葉を頂いています。

(総務課長 鶴田 毅彦)



エイサンダーピョー

最初は緊張と不安がありましたが、くにくさ苑の先輩方が優しく、そしてちゃんと教えて下さるおかげで仕事も私生活も困ることがなく過ごせています。半年経ち仕事も楽しくでき、くにくさ苑は私のセカンドファミリーになりました。初心を忘れず、そしてご利用者を笑顔にし、美しい生活になるように関わってまいります。



ガルチャンサー

私はミヤンマーから来ました。くにくさ苑で介護の仕事をしています。ご利用者が優しく接してくれるので嬉しいです。将来は介護福祉士の資格をとって、もっとコミュニケーションがとれるようになりたいです。そしてスタッフの皆さん色々教えてください。ありがとうございます。



県立黒瀬高等学校・福祉課1年生

くにくさ苑 施設見学受入



令和6年7月10日、広島県立黒瀬高等学校福祉科の1年生が施設見学実習のため、くにくさ苑及びびりはくにくさを訪問されました。昨年まで感染予防として、ご利用者と直接関わるレクリエーションは行わなかったのですが、今年の実習ではレクリエーションも実施しました。

生徒の皆さまは、高齢者施設の役割を学び、ご利用者との交流の楽しさを感じる貴重な経験を得ることができたと思います。実習中に生徒の皆さまが自然に腰を下ろし、目線を合わせてお話する姿はとても素敵で、ご利用者にも笑顔が広がりました。

この機会が生徒の皆様にとって良い学びとなったことを願っています。

(求人担当 萩坂 直己)



### 追悼法要

今年も7月27日に、くにくさ苑にて追悼法要を執り行いました。この法要は、一年間(2023年6月から2024年5月)にご逝去されました方々のご冥福を祈り、ご利用者・職員でのご供養させていただきました。大切な行事です。今年も安芸区阿戸町にあります専立寺のご住職にお経をあげていただきました。在りし日のお姿を偲びながら焼香を行い、物故者の方々のご冥福をお祈りいたしました。

くにくさ苑

生活相談員 小林 希



# 令和5年度 事業執行状況報告

(1) 持続可能な施設運営のための中・長期計画の策定及び財源確保

○法人全体の持続可能な運営を確保するための中・長期計画の策定が本来の目標であるが、令和5年度は、「特別養護老人ホームくにくさ苑」及び「老人保健施設はくにくさ」の施設改修計画を策定し、実施設計、改修工事の開始に備えるとともに、必要な財源確保のための補助金の獲得及び借入金の検討についても取り組むことができた。

○電力料金の削減については、各施設において節電委員会などの実施により節電に努めることともに、電力供給会社を変更すること等により、令和3年度に比較して10%以上電力量を削減することができた。

(2) 業務継続計画（BCP）の策定及び研修・訓練の実施

○事業所ごとに策定が義務づけられていた業務継続計画（自然災害・感染症）について年度末までにすべての事業所において策定することができた。しかし、事業計画に掲げていたシミュレーションの実施とプラットフォーム、職員研修については次年度からの実施となった。

(3) 各施設・事業所における主体的な運営力の向上

○各事業所の稼働率、収入の状況について過去2年間と比較するとともに、稼働率について自ら定めた目標値との比較について、毎月、各事業所から提出させることにより運営改善を図ってきた。また、1月からは幹部職員による経営会議を毎月開催することにより、各事業所の実態把握及び運営改善策について検討することとした。

(4) 優秀な人材確保と人材育成、職場環境の整備

○人材確保のため、就職説明会、出前授業、学内ガイダンス等について、職業安定所、大学、社会福祉協議会、専門学校、介護職員養成施設等が実施する多様な催し物に積極

的に参加してあとグループへの職員の動誘に努めた。また、SNSを活用した情報発信も内容を充実させて実施した。

○外国人介護職員の受入れについては、これまでベトナムからの留学生を受入れ実績があり、これまで5人の介護職員がでま・くにくさで勤務しているが本年度新たに、ミャンマーからの技能実習生を受け入れ、2月から特別養護老人ホームくにくさ苑で勤務している。今後とも外国人介護人材の確保については検討を進めていくこととしている。

○職員が目標とやりがいをもって勤務できるための職場環境の維持向上のためのハラスメント研修や職員のマネジメント能力向上に資するための研修も実施した。次年度も計画の実施していく予定である。

(5) コンプライアンスの徹底

○例年とおり、事業所運営の基本である社会福祉法、老人福祉法、介護保険法、医療法等について職員研修の場やOJTにおいて周知を図るとともに、労働基準法、労働施策総合推進法等労働関係法規及び育児・介護休業法等の労働環境関連法規についても理解と周知の促進を図った。

(6) 海外交流の実施

○新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に感染症法上の取扱いが5類に変更されたが、海外交流については、その影響が残っており、事業展開を行うことができなかった。

(7) 地域貢献・交流事業の推進

○新型コロナウイルス感染症5類移行後、各地域団体の行事は次第に実施されるようになってきており、阿戸地域健康相談、町内会施設周辺清掃、阿戸小学校3年生と特養利用者との交流会等は前年度に引き続き実施したが、阿戸地区敬老会、阿戸町民祭りへの参加は実施しなかった。また、施設の行事である納涼祭、お地蔵参り等は実施しなかった。

# 令和5年度 決算状況報告

社会福祉法人あとき 令和6年3月31日現在

単位：千円

事業活動計算書	
<b>サービス活動増減の部</b>	
サービス活動収益	2,310,867
サービス活動費用	2,285,561
サービス活動増減差額	25,305
<b>サービス活動外増減の部</b>	
サービス活動外収益	6,314
サービス活動外費用	12,475
サービス活動外増減差額	△6,160
<b>特別増減の部</b>	
特別収益	8,493
特別費用	5,866
特別増減差額	2,626
当期活動増減差額	21,771
前期繰越活動増減差額	1,662,280
次期繰越活動増減差額	1,684,052

財産目録

単位：千円

資産の部	金額	負債の部	金額
1. 流動資産	1,462,420	1. 流動負債	326,756
2. 固定資産		2. 固定負債	1,063,829
(1) 基本財産	1,969,231		
(土 地)	(661,724)		
(建 物)	(1,307,507)		
(2) その他の固定資産	257,083	負債合計	1,390,586
<b>固定資産合計</b>	<b>2,226,315</b>	<b>差引純資産</b>	<b>2,298,149</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,688,736</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,688,736</b>

単位：千円

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,462,420	流動負債	326,756
基本財産	1,969,231	固定負債	1,063,829
その他固定資産	257,083		
		<b>純資産の部</b>	
		基本金	283,656
		国庫補助金等	330,440
		特別積立金	
		次期繰越活動	1,684,052
		収支差額	
<b>計</b>	<b>3,688,736</b>	<b>計</b>	<b>3,688,736</b>

暑さ寒さも彼岸までといいますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年引き続き、今年の夏も晴れて気温が上がり、各地で記録的な暑さになりました。そんな暑さ中でありましたが、くにくさ苑をはじめ各事業所で恒例の夏祭りを行いました。ご利用者、職員とも終始、笑顔、笑顔の楽しいひと時になりました。

また3面には、技能実習生の紹介をさせて頂いています。

慣れない文化の中、日本語や介護の勉強を頑張っていますので、温かく見守って頂ければ幸いです。

季節の変わり目ですので、皆様お体には十分にお気をつけ下さい。

くにくさ苑

介護職 武田 正登

